

2010年6月9日

株式会社東京放送ホールディングス  
代表取締役社長 財津 敬三 様

**「余命1ヶ月の花嫁・乳がん検診キャラバン」の  
内容見直しを求める要望書**

謹 啓

向暑の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。貴社の乳がん・若年性乳がんに対する継続的な啓発活動への取り組みに、深い敬意を表します。

さて、貴社が2008年から開始した「余命1ヶ月の花嫁・乳がん検診キャラバン」が、2010年も実施されると、キャラバン事務局のホームページに掲載されています。

キャラバンの開始以来、対象は20代・30代の女性限定とされ、2008年・2009年のマンモグラフィ検診に続いて、今年は超音波（エコー）検診が行われるとのこと。その内容に、われわれ、乳がん経験者、患者支援団体、医療関係者などからなる有志一同は深い懸念を抱いています。

20代・30代の若年者を対象とした検診目的のマンモグラフィ検査および超音波検査には、有効性を示す科学的根拠がありません。また、検診は必ずなんらかの不利益を伴うため、有効性が不明な検診は不利益だけを増大させる恐れがあります。科学的根拠のないこうした医療活動を、本来視聴者、ならびに国民に対する正しい情報の発信を責務としているはずのテレビ局が行うことは、倫理上きわめて問題が大きいと考えます。

若年性乳がんに対する有効性の確認された検診方法はいまだなく、乳がんの治療方法についてもさらなる進歩が期待されるなか、研究開発の推進が今後不可欠です。貴社の乳がん啓発プログラムがこれらに一層貢献、寄与されることをわれわれ一同は切に望んでおり、そのための協力は惜しまない所存です。

つきましては貴社が行う乳がん検診キャラバンの内容を見直し、検診実施の中止を含め、活動内容を再検討いただきたく、ここに強く要望いたします。また、別紙に質問状を添付いたしますので、ご回答をたまわりたく、よろしく願い申し上げます。

末筆ながら貴社のますますのご繁栄をお祈り申し上げます。

謹 白

**代表連絡先**

NPO 法人キャンサーネットジャパン内

「余命1ヶ月の花嫁・乳がん検診キャラバン」の内容見直しを求める要望書提出担当者

〒113-0034 東京都文京区湯島1-6-8 中央自動車ビル7F

電話：03-5840-6072 ファックス：03-5840-6073

E-mail：kenshinyoubou@gmail.com

青谷 恵利子 (北里大学臨床薬理研究所 臨床試験コーディネーティング部門 部門長)  
有吉 寛 (愛知県がんセンター愛知病院 名誉院長/悪性リンパ腫サバイバー)  
池田 正 (帝京大学医学部外科学 教授)  
岩瀬 哲 (NPO 法人キヤンサーネットジャパン 理事長)  
岩本 ゆり (医療コーディネーター 看護師)  
上野 直人 (The University of Texas MD Anderson Cancer Center, MD アンダーソンがんセンター  
教授/悪性組織性繊維球腫サバイバー)  
植村 めぐみ (がん患者会シャローム 代表)  
内田 絵子 (NPO 法人ブーゲンビリア 理事長/乳がんサバイバー)  
大橋 靖雄 (東京大学大学院医学系研究科生物統計学 教授/NPO 法人メディカルライター協会  
理事長)  
勝俣 範之 (国立がん研究センター中央病院腫瘍内科)  
唐澤 久美子 (順天堂大学医学部放射線医学講座 先任准教授)  
川上 祥子 (NPO 法人キヤンサーネットジャパン 理事)  
久保井 撰 (福岡県弁護士会 (九州合同法律事務所) 弁護士)  
古賀 眞美 (Patient Advocate Liaison 代表)  
後藤 悌 (東京大学大学院医学系研究科呼吸器内科学)  
小西 敏郎 (NTT 東日本関東病院 副院長/胃がん・前立腺がんサバイバー)  
西條 長宏 (近畿大学医学部腫瘍内科 特任教授)  
桜井 なおみ (NPO 法人 HOPE プロジェクト 理事長/KMaCS/乳がんサバイバー)  
佐治 重衡 (東京都立駒込病院乳腺外科 非常勤医員)  
清水 哲 (地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター乳腺内分泌外科 部長)  
鈴木 育宏 (東海大学外科学系乳腺・内分泌外科 准教授)  
下妻 晃二郎 (立命館大学総合理工学院生命科学部生命医科学科 教授)  
滝口 裕一 (千葉大学大学院呼吸器内科学 准教授)  
田嶋 ティナ 宏子 (白百合女子大学文学部 准教授)  
田所 多佳子 (日本癌医療翻訳アソシエイツ/KMaCS)  
円谷 彰 (神奈川県立がんセンター消化器外科 部長)  
坪井 正博 (神奈川県立がんセンター呼吸器外科)  
寺田 真由美 (KMaCS (もっと知ってほしい「がん検診」のことプロジェクト) /乳がんサバイバー)  
鳥集 徹 (ジャーナリスト)  
中村 清吾 (昭和大学医学部乳腺外科 教授/昭和大学病院 ブレストセンター長)  
南雲 吉則 (医療法人社団ナグモ会ナグモクリニック 総院長)  
野村 久祥 (杏林大学医学部附属病院薬剤部 がん指導薬剤師・がん専門薬剤師)  
増田 美加 (女性医療ジャーナリスト/乳がんサバイバー)  
向井 博文 (国立がん研究センター東病院化学療法科)  
柳澤 昭浩 (NPO 法人キヤンサーネットジャパン 事務局長/KMaCS)  
山崎 多賀子 (美容ジャーナリスト/乳がんサバイバー)  
吉田 和彦 (東京慈恵会医科大学外科学教授・青戸病院副院長、外科部長)  
渡辺 古志郎 (横浜市立市民病院 名誉院長)

(以上、計 38 名)